

第9回九州テコンドー選手権大会 兼 第7回福岡県テコンドー選手権大会 要項

【1】名称

第9回九州テコンドー選手権大会 兼 第7回佐賀県テコンドー選手権大会
- 第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手選考会 -
開催日 2018年11月24日 土曜日 午後5時00分開始
会場 後楽園ホール（東京ドームシティ内）

【2】主催 九州テコンドー連盟

幹事 福岡県テコンドー連盟
担当 事務局長 大佐古勝

【3】主管 日本テコンドー協会（JTA）

【4】目的

- 1) ルールを尊ぶ日本跆拳道の試合を通じて九州会員の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) 競技武道としての日本跆拳道を通じて青少年の向上心および胆力を涵養する。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会出場選手選考
 - ① 一部組手各階級優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない。
 - ② 一部蹴武の型優勝者には全日本大会出場権を与える。2位は選抜出場推薦候補とする。
 - ③ 上記の全日本FT選手権大会選抜者は、有段者または10月末迄の昇段審査合格者に限る。

【5】開催日時

2018（平成30）年3月25日（日）

11時30分選手集合・審査受験者10時集合

当日日程 10:15 第123回春季昇級・昇段審査会開始
12:00 大会開始
15:45 終了

【6】開催場所

筑紫野市立二日市東小学校体育館

福岡県筑紫野市柴7-4-1
JR二日市駅。高速九州自動車道「筑紫野」下車

【7】参加資格

- 1) JTA有級者（黄帯・7級以上）、有段者。
- 2) 健康（持病を隠していた場合、重大な事故につながり、かつ保険もおりない）であり、かつスポーツ安全保険（同上）に加入している者。
 - ・契約している保険会社に問い合わせたところ
組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。
例1) 熱中症

例2) 要項には「健康であること」が参加絶対条件であるが、本人が持病を隠して参加し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

例3) 極度の緊張で打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

例4) 過呼吸症候群等の呼吸系臓器の病気

命ほど大切なものではありません。組手試合参加絶対条件である健康か否かは日常の練習中、判明しているはずなので当該責任者は参加させないように指導して下さい。

- 3) 一部組手は40歳以下の1級・茶帯～有段者。
- 4) 一部蹴武型は有段者に限る。少年少女部の有段者は参加できる。
- 5) 一部少年少女部蹴武の型 ～ 有段者
- 6) 二部組手は、イ) 1級・茶帯～有段者
ロ) 過去、1年以内のJTA公式戦で入賞経験を有する5級・緑帯以上の有級者。
- 7) 二部蹴武型は、茶帯～有段者。なお、少年少女部の有段者は参加できる。
- 8) 三部組手は、黄帯～茶帯。
- 9) 三部蹴武型は、黄帯～茶帯。ただし、優勝経験者は参加できない。二部へ出場。
- 10) 少年少女部の全試合は、黄帯～黒帯。有段者は一部に挑戦することが望ましい。

【8】試合種目・表彰

I、組手

一、第9回九州テコンドー選手権大会

一部フルコンタクト・テコンドー組手試合
最優秀選手1名、トロフィー授与。該当者なしの場合もある。
一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

無差別級組手

優勝：メダルと賞状、蹴美に秀でている場合に限り第29回全日本FT大会出場権を与える
準優勝～三位：メダルと賞状

二、第7回福岡県テコンドー選手権大会

1、二部JTAライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- 2) 中量級（70kg未満級）～ 同上
- 3) 重量級（70kg以上） ～ 同上
- 4) 女子無差別級 ～ 同上

2、三部JTAライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- 2) 中量級（70kg未満級）～ 同上
- 3) 重量級（70kg以上） ～ 同上
- 4) 女子無差別級 ～ 同上

3 四部JTA少年部特別ルール組手

- 1) 少年部丙（小学校1～2年生） ～ 優勝～3位：メダルと賞状
- 2) 少女部丙（小学校1～2年生） ～ 同上
- 3) 少年部乙（小学校3～4年生） ～ 同上
- 4) 少女部乙（小学校3～4年生） ～ 同上

- 5) 少年部甲 (小学校5～6年生) ～ 同上
 6) 少女部甲 (小学校5～6年生) ～ 同上
 7) 中学生男子軽量級 (50kg未満) ～ 同上
 8) 中学生男子中量級 (50kg以上) ～ 同上
 9) 中学生女子無差別級 ～ 同上

注意1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、JTA公認胴防具、ファールカップ(男子のみ)を着用しなければならない。

注意2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

- ①少年部・少女部組手の1回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、遠心力がかかり最も危険な上段回し蹴りを禁止しているため、選手双方が定まれたルールを守っていれば事故が起こらないと考えます。
- ②義務教育課程の子供は成長段階に差異があり、年齢が同じであっても身長・体重に差異があります。また、身体の成長が著しい子供は、1学年上の子供より大きい場合も珍しくありません。つまり子供の場合、学年や年齢で格闘技の試合の階級を区切るのは、身体的に難しいといえます。しかし、手技のボクシングのように体重のみで区切るのも問題があります。なぜなら、テコンドーは蹴りの勝負であるため、身長差＝足の長さが勝敗を左右するからです。そのため学年という大まかな基準で募集し、申請書記入の体重と身長、戦歴による実力を考慮し、対戦表を作成します。たとえば(過去の事例)、少女部丙にエントリーした小2女子(体重23kg)が1名、少女部乙にエントリーした小3女子(体重25kg)が1名の場合、「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行いました。あるいは、身長が低く体重が軽くとも、過去の試合において入賞している場合、大きな相手であっても、実力があるので、充分、戦えると判断した場合は対戦させることがあります。
- ③男女中学生は、エントリーの状況に応じて有段者と有級者中の上級者を統合する場合があります。たとえば、中学生男子組手有級者クラスで、同じクラブ内の選手のみがエントリーしている場合、他のクラブ所属選手と対戦した方が精神力を強化するには有意義であるからです。また有段者が身長160cm以下で、有級者が身長180cmに近い場合もあり、体格差を克服する試練を有段者に課すことで諦めない強い精神の涵養にも役立つからです。

注意3 男・女中学生や高校生の有段者は一般の部に参加できます。ただし、自己責任とします。保護者の許可が必要です。

II、蹴武型試合(全種目男女混合)

1、第9回九州テコンドー選手権大会蹴武型試合

- 1、一部蹴武の型試合(有段者・茶帯。年齢制限無し) ～ 優勝、準優勝、3位:メダルと賞状
 2、一部B級蹴武の型試合 ～ 同上
 3、一部少年少女部蹴武の型 ～ 同上

2、第7回福岡県テコンドー選手権大会蹴武型試合

1、二部蹴武の型試合 ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

2、少年少女部蹴武の型試合

- | | | |
|-----------------------|---|----|
| ① 小学生低学年（3年生以下。未就学者可） | ～ | 同上 |
| ② 小学生高学年（4年生～6年生） | ～ | 同上 |
| ③ 中学生（非有段者に限る） | ～ | 同上 |

注意1 少年少女部の有段者は、すべての一般の部に挑戦できる。

注意2 型の試合は、年齢差、体力差、性差は、練習量で充分補えますので統合する場合があります。

注意3 一部B級と一部少年少女部は統合する場合があります。

【9】試合ルール等

一、組手試合ルール

1、試合ルール

日本テコンドー協会本部HPの通り。必ず一読

- ①一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）
- ②二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール
- ③JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

2、試合時間、判定基準等

1) 試合時間

①一部・二部・三部 本戦2分 1R

延長戦2分（1R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

②中学生 本戦1分30秒 1R。

延長戦1分30秒（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③少年少女部小学生 本戦1分 1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 厳点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点1とする。

注意1 計量は1回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。
無理な減量は死亡事故につながり極めて危険なため禁止。

注意2 一定数のエントリーに達しない場合、階級統合するので参加者は予め同意しなければならない。
参加者（未成年者の場合は保護者含む）は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーする

ことはできない。エントリーをもって同意とみなす。

注意3 すべての組手選手は、青または赤のヘッドギアを持参用意し、着用しなければならない。

注意4 女子三部組手、少年少女部組手は、J T A公認の胴防具（青・赤）を着用しなければならない。
高校生は、本人が希望する場合、着用を免除する。

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会本部HPの通り。必ず一読

- 1、一部A級蹴武型ルール（全日本大会予選）
- 2、一部B級蹴武型&一部少年少女部蹴武型ルール（全日本大会予選）
- 3、その他 蹴武型 C級型ルール

【10】大会出場申込

2018年3月13日（当日消印有効）、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手&蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、
振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00160-6-185058

〔名義〕 日本テコンドー協会

振り込み手数料節約のため

注意1 審査受験者は、試合参加費と審査受験料をあわせて振り込んでも構いません。

注意2 家族会員は、個々の試合参加費と審査受験料をあわせて振り込んでも構いません。

注意3 ゆうちょ銀行のネットバンキングか通帳・カードからATMを通じて振込めば手数料は無料

2、申込書送付先 *大会実行委員長へ直送

〒837-0915

福岡県大牟田市久福木198-2

福岡県テコンドー連盟

事務局長 大佐古勝 殿

【 1 1 】 大会役員

大会会長 河 明生（九州跆拳道連盟会長） 実行委員長 大佐古勝
審判（記録・試合進行兼任交代）廣川禎教、北川弘幸、福島成勇、守田典男
司会・福島良菜 賞状 三上智範

【 1 2 】 注意事項

- ① 試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ② 電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ③ 所属支部長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ④ 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ⑤ 試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ⑥ 各種保険証の現物を持参して下さい。
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各支部は病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ⑦ 当該会場体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館・武道館内は禁煙です。
- ⑧ ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【 1 3 】 観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。
施設の定める飲食禁止場所以外での飲食や喫煙、違法駐車は禁止します。

【 1 4 】 J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う 体育館・武道館の使用禁止の場合の処置

自然災害で体育館・武道館の中止勧告が出た場合、参加費は返金できないという内容。
詳細はJ T A本部HPを参照して下さい。

【 1 5 】 白帯特例

鹿児島県等の遠方のクラブに入門した会員は、
白帯であっても当日審査を受験し合格すれば試合参加を許可します。
担当クラブ長の事前推薦が必要です。
ただし、当日の審査で不合格の場合、すでに被保険者となっており対戦表にも氏名を記載されていることから棄権扱いとなり、試合参加費は返却しません。
上記をあらかじめ同意しなければなりません。

**第 9 回九州テコンドー選手権大会 兼
第 7 回福岡県テコンドー選手権大会参加申込書
大会会長 河 明生殿**

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
- 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
- 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
- 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険 Ⅱ 0 4 2 - 3 6 8 - 0 7 4 4 と契約）
死亡 1 千万、後遺障害（失明など）1 千万、入院 1 日 6 千円、通院 1 日 4 千円
- 七、J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う体育館・武道館の使用禁止の場合の処置も同意します。
- 八、私は組手試合参加絶対条件の健康な体であることに虚偽はありません。万一、打撃の伴わない死亡事故・重度後遺障害・大怪我等により保険金が支払われなかったとしても大会主催者に対し民事上の異議を申し立てません。上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所

(ふりがな)
氏名

印

保護者 住所

氏名

印 * 1 8 歳未満、高校生以下必要

* 記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段 年齢 歳

身長 C m 体重 K g

* のり付けして下さい

過去（1 年以内）の大会成績

1

2

出場種目（当日計量の際、申告体重を超えた場合は失格となります。）

組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください

一部組手

① 無差別級

二部組手

① 軽量級

② 中量級

③ 重量級

④ 女子差別級

三部組手

① 軽量級

② 中量級

③ 重量級

④ 女子無差別級

四部組手

① 少年丙

② 少女丙

③ 少年乙

④ 少女乙

⑤ 少年甲

⑥ 少女甲

⑦ 中学生男子軽量級

⑧ 中学生男子中量級

⑨ 中学生女子無差別級

蹴武型

① 一部 A 級

② 一部 B 級

③ 一部少年少女部

④ 二部

⑤ 三部小学生低学年以下

⑥ 三部小学生高学年

⑦ 三部中学生